

大山町・伯耆町・江府町・米子市のストーリー

「地蔵信仰が育んだ 日本最大の大山牛馬市」

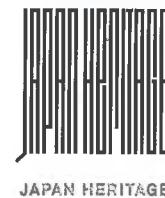
4月25日、文化庁が「日本遺産」認定第二弾として発表した19件に、大山道でつながる大山・伯耆・江府・米子の4市町で申請したストーリーが選ばれました!!



▲大山牛馬市の様子（昭和6年）

認定に係る審査も、文化財の新規指定などを審査する「文化審議会」とは別に「日本遺産審査委員会」を設け、インバウンド（訪日外国人旅行）等を意識した観光活用などの視点で審査・決定されるのが特徴です。

地域の歴史的・文化的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産（Japan Heritage）」として認定し、そのストーリーを語るうえで不可欠な文化財群を地域が総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより、地域の観光振興などを推進し、地域活性化を図ることを目的としています。



JAPAN HERITAGE

「日本遺産」とは？

「日本遺産」は、文化庁が日本の伝統や文化を世界にPRする「クールジャパン戦略」の文化財版として平成27年度に創設した制度です。

2020（平成32）年に東京で開催に向けて訪日外国人旅行者の増加が見込まれており、旅行者が日本全国を周遊し、地域の活性化に結びつくようにするため、「日本遺産」が観光客の受け皿となることが期待されています。2020年までに、ブランド力を保つために100件程度に限定して認定される予定です。現在37件（平成27年度に18件、今年度に19件）が認定されています。

「日本遺産」の特徴

「日本遺産」は指定文化財や地域資源をパッケージ化したストーリーを認定するものです。このため、文化財のうち重要なものを「指定」「選定」して保存・保護を図る従来の文化財保護制度とは異なり、活用・発信を重視しています。

認定に係る審査も、文化財の新規指定などを審査する「文化審議会」とは別に「日本遺産審査委員会」を設け、インバウンド（訪日外国人旅行）等を意識した観光活用などの視点で審査・決定されるのが特徴です。

認定審査は、地域の際立った歴史的特徴・特色を示し、我が国の魅力を十分に伝えるものについて、斬新さ・希少性・地域性・興味深さ・訴求力などの観点から総合的に判断されます。日本遺産を活かした地域づくりの将来像や地域活性化の推進が可能な体制の整



「日本遺産」の審査要件

「日本遺産」のストーリーは、歴史的経緯や地域の風土に根ざして受け継がれている伝承や風習を踏まえること、ストーリーの中核に明確なテーマを設定し、地域に伝わる文化財にまつわるものを探すこと、ストーリーを構成する文化財群に国指定・選定の文化財を必ず一つは含めることなどが要件です。

認定審査は、地域の際立った歴史的特徴・特色を示し、我が国の魅力を十分に伝えるものについて、斬新さ・希少性・地域性・興味深さ・訴求力などの観点から総合的に判断されます。日本遺産を活かした地域づくりの将来像や地域活性化の推進が可能な体制の整